

健全育成シリーズ(129)

愛のリレーでボランティア



先日、ある福祉講話会に参加させていただきました。「福祉」や「ボランティア」という言葉がさかんに叫ばれている昨今、じっくりと考えるチャンスに恵まれました。一時間という短い時間でしたが、心あたたくくなりました。それと同時に、多くの方々にこの会の内容を知っていただきたく書き始めたところです。

講師の〇さんは、全盲です。光を失った生活は、苦難の連続だったそうです。しかし、そんなことを微塵も感じさせない明るさと強さが伝わってきたのです。講話の冒頭、次のようにおっしゃいました。

「今は、視覚障害を一つの個性だと考えています。視力をなくしましたが、人間には五つの感覚があります。私には、あと四つがあるのです。それを使って生きていこうと思っています。」

一言一言をかみしめながら発する言葉は、更にこう続き

ました。「やさしさをリレーしてくださいばうれしいです。私にできることは何でもやります。」

しかし、できないこともあります。そこをリレーしてくださいばうれしいです。愛のリレーです。困っていたら声をかけてください。やさしい心と勇気があれば、だれにでもできるのがボランティアです。よいことをすることによって、みなさんの心が磨かれます。自分の心を磨くのは、自分自信なのです。」

会場に集まったお子さんや大人たちが、見る見るうちに引き込まれていきました。そして、更にこう続きました。「簡単にできるボランティアを一つ教えます。それは、となりの人に微笑むということです。簡単そうですが、これが難しいのです。」

最後に、すてきなメッセージをくださいました。

「今を大切にして、大きな夢に向かって生きてください。人生は、あつという間です。一日一日を大切にしてください。一つひとつの言葉に、不思議な重みを感じたのは私だけではないはずですよ。それは、本当に今を大切に生きています。〇さんの言葉だからこそ誓い

てきたのだといえそうです。

今、私たちにできることは何なのでしようか。それは、私たちにできる『愛のリレー』をすること、今を大切に生きることなのです。

ここに〇さんが愛読する詩を紹介いたします。

せせろぎ

武山正徳作

山さな せせろぎ
ゆつかは大きな海へ出られる
日を夢見て

前へ前へと流れて行く
どんな山さなせせろぎでも
前へ流れる意志がなければ
沼のうらにぶどんでしまろ
山さな私

呼び合らせせろぎのうらに
たゆまず前へ流れてゆたぬ

二〇〇二年は、本県で「全国ボランティアアフエスティバルやまなし」が開催されます。

「自分のできるボランティア、やさしさのおすそ分け」子どもでも大人でもだれでもできるボランティアです。

「全国ボランティアアフエスティバルやまなし」を、ひとつのきっかけにしてみませんか。

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

特定疾患医療費

助成制度のご紹介

原因が不明で、治療法が確立していない病気をいわゆる難病といいます。

そのうち、国の定めた難病(特定疾患)については、治療方法の研究を進める一方、患者さんの医療費の軽減も図っており、入院の場合、月一万四千元、通院の場合は月二千元の自己負担で済みます。

●対象者

膠原病などの四十六疾患と診断された方

○申請窓口

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部(大月保健所)

○手続き

次の書類が必要です。
・特定疾患医療受給者交付申請書(保健所にあります)
・医師の診断書
・住民票
・保険証の写し

なお、療養生活に関する相談も行っています。

詳しくは、当保健所健康支援課までご相談ください。

ひきこもる人が

増えています!

●ひきこもりとは?

人との関わりに傷ついたり、また、人と関わることで自体に不安を抱き自分がさらに傷つくのではないかと思ひ、六カ月以上にわたり、自宅にひきこもり、家族以外とはほとんど対人交流をほとんどしないことを言います。

●ひきこもる心理とは?

人と接することで、極度に緊張したり、苦痛に感じたり、それがもとで、常に抑うつ気分、ひきこもる以外に自分を守る手だてがないという切迫している状態です。

●どのように対応したらよいか?

決してひきこもりを責めたり、とがめたりしないでください。本人が心を開かないからといって無理にこじ開けようとせず、そつと後ろで見守ることが大切です。

ただし、何らかの精神疾患の始まりということもあるの一度、精神科医に相談することも必要です。

問合せ 障害福祉課

☎(22)7826